【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2004-536547(P2004-536547A)
【公表日】平成16年12月2日(2004.12.2)
【年通号数】公開・登録公報2004-047
【出願番号】特願2003-516140(P2003-516140)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｊ　7/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｊ　7/00　３０２Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成17年7月14日(2005.7.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
バッテリ電圧が第１の参照電圧（Vr_1）よりも大きいときにバッテリを放電させるために導通状態となる可制御スイッチ（４６）を備えたバッテリ放電器において、
前記可制御スイッチ（４６）は、該スイッチの制御に使用されるバッテリ電圧を表す電圧は該スイッチのオフ状態のときに該スイッチのオン状態のときよりも大きい値となることから周期的に開閉され、
少なくとも１つの回路素子（４４；８４）が設けられており、該回路素子によって、バッテリ電圧を表す電圧が第１の参照電圧（Vr_1）よりも高いときに前記スイッチ（４６）のスイッチオン期間が延長されることを特徴とするバッテリ放電器。
【請求項２】
スイッチを交互にオン／オフする周波数を制御するために第２の回路素子（Ｃ３，５４，Ｒ５，Ｔｉ，Ｒ３）が設けられている、請求項１記載のバッテリ放電器。
【請求項３】
前記スイッチ（４６）の導通状態は制御電圧の値に依存し、バッテリ電圧を表す電圧が第１の参照電圧（Vr_1）に近づくと該スイッチは中間導通状態をとり、電流コントローラ（３８）が設けられていて、該電流コントローラはバッテリ電圧を表す電圧が第２の参照電圧（Vr_2）よりも大きくなると前記スイッチ（４６）を完全導通状態におく、請求項１または２記載のバッテリ放電器。
【請求項４】
前記スイッチの発振を発生させるために電圧降下を生じさせる電圧降下器（３６）が設けられている、請求項１から３のいずれか１項記載のバッテリ放電器。